



Tokyo Tech

東京工業大学 産学協働プログラム
「人生100年時代の都市・インフラ学」

人生100年時代の豊かな ライフシーン Vol.1

チーム①：出会いとコミュニケーション

座長：芝田義治（株式会社久米設計）

担当教員：野原佳代子

2021年2月25日
資料作成：坂村圭

これから3回のワークショップが目指すこと

人生100年時代の豊かな出会いとコミュニケーションを創出する 都市・インフラのデザイン要件の抽出

- －出会いとコミュニケーションの「豊かさ」とはどのようなものを説明できるようになる
- －人生100年時代の「豊かな」出会いとコミュニケーションを想定できるようになる
- －人生100年時代に出会いとコミュニケーションの「豊かさ」を創出するために、都市・インフラがどのような要件を満たすべきかを理解する

「豊かさ」をデザインする

例えば、「これから50年を見据えた豊かな出会いとコミュニケーションを生み出す空間をつくりたい」という依頼を受けたときに、その空間をどのように設計・計画しますか。

どのような人が集まるように設計しなければならないか、どのような活動を生み出したいか。そのためには、どんな機能が必要で、どれぐらいの面積が必要となるか・・・。

もちろんそれぞれのプロジェクトでは、クライアント、敷地要件、予算などが異なるため、このような問いには、画一的な答えはありません。それでも、それぞれのプロジェクトで満たすべき、豊かな出会いやコミュニケーションを創出するための「デザイン要件」や「検討事項」にはいくつかの共通点が存在しているのではないのでしょうか。

本ワークショップでは、「豊かなライフシーン」を切り口に、都市・インフラが備えるべきデザイン要件を議論、抽出することを目的としています。



豊かさの事例を
集める



パターンや構造
を理解する



通底する概念や
ビジョンを応用
する

本日の中心的な議題

出会いやコミュニケーションが「豊か」とはどういうことか

- － 出会いやコミュニケーションにおける「豊かさ」を自らの経験から掘り起こしてみる
- － グループ内で意見を共有して「豊かさ」を構成する多様さと共通する要素を議論する
- － 出会いやコミュニケーションの豊かさに影響を与えるコトやモノを把握する

【次回以降の議題】

第2回：人生100年時代に出会いやコミュニケーションはどのように変化していくべきかを人の豊かさから考える

第3回：人生100年時代の出会いやコミュニケーションを支える都市・インフラのデザイン要件を考える

本日のタイムスケジュールと進行について

○タイムスケジュールと進行

ワークショップの全体時間は3時間(14:00-17:00)です。進行や時間配分はグループ座長に一任させていただきます。

事務局からはチーム内で行っていただきたい議題（ワーク）を数点提示させていただきます。この議題を中心に自由に議論を行ってください。

○本日議論していただきたいこと

- (work1) 自己紹介
- (work2) 豊かさを自分の経験から掘り起こす
- (work3) 全体ディスカッション

○本日の記録とその共有について

議論いただいた内容はビデオ記録を残すだけでなく、書き起こしを事務局で行います。これらの結果は人生100年のホームページでアーカイブさせていただきます。

【Work 1】

自己紹介

新しいワークショップのはじまりです。まずは自己紹介を行いましょう。
お名前、ご所属、最近の趣味、好きな食べ物など・・・

一人2分程度で自己紹介をお願いいたします！

【Work 2】

豊かさを自分の経験から掘り起こす

個人的な経験から出会いやコミュニケーションの豊かさを考えてみましょう。
「豊かさ」を感じた自身の出会いやコミュニケーションの経験を思い返して、
ノートに書きだします（20分程度）。

ノートの内容がまとまったら、zoomのチャットに書き込みを行ってください。
全員の書きこみが終わったら、一人2分程度で発表を行います。

自分の経験を掘り起こす

まずは、深呼吸をして、心を落ち着けます。

心の準備が出来たら、ゆっくりと自身の「豊か」な出会いやコミュニケーションの経験を思い返してみましょう。

ぼんやりと風景が浮かび上がってきたら、そのなかでも特に鮮明な記憶を一つ選んで、できる限りその場所に留まり、探険をしてみます。

どのような場所にあなたはいますか。

それはいつの出来事でしたか。

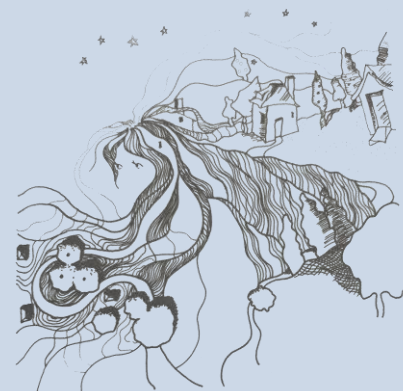
あなたは何をしていましたか。

誰と出会ったときのことだったでしょうか。

どのような会話をしましたか。

準備が出来たら、そのイメージを絵にしてみます。上手に書く必要はまったくありません。絵の中には必ず注釈をつけて、細部の特徴を言葉にします。

最後に、なぜその経験を「豊か」と思ったのかを改めて考えてみましょう。



【メモ欄】

Title :

いつのこと： 年 月 (朝・昼・夜)

何をしていた時：

どこで： (室内・屋外)

誰と一緒にいる：

何がみえる：

どんな音が聞こえる：

なぜ豊かだと思ったか：

【Work 3】

全体ディスカッション

グループ内の発表をもとに、ライフシーンの「豊かさ」の多様性と共通点を考えてみましょう。また、どのような事柄（時間、場所、相手・・・）が「豊かさ」に影響を与えるかを話し合ってみましょう。
その他にも、気になったことは何でもグループ内で共有してください。

議論してみたら面白いかもしれないこと

○出会いやコミュニケーションを分類するとしたらどのような分け方があるか

家族との会話で感じる豊かさと、会社の同僚との会話で感じる豊かさはまったく異なるだろう。では、会話の相手によって、コミュニケーションで求めるものや豊かさは変わるのだろうか。同様に、直接会って行う会話とリモート遠隔で行う会話とでは、豊かさの基準は異なるだろうか。豊かさを切り口にする場合、出会いやコミュニケーションをどのように分類すると良いだろうか。

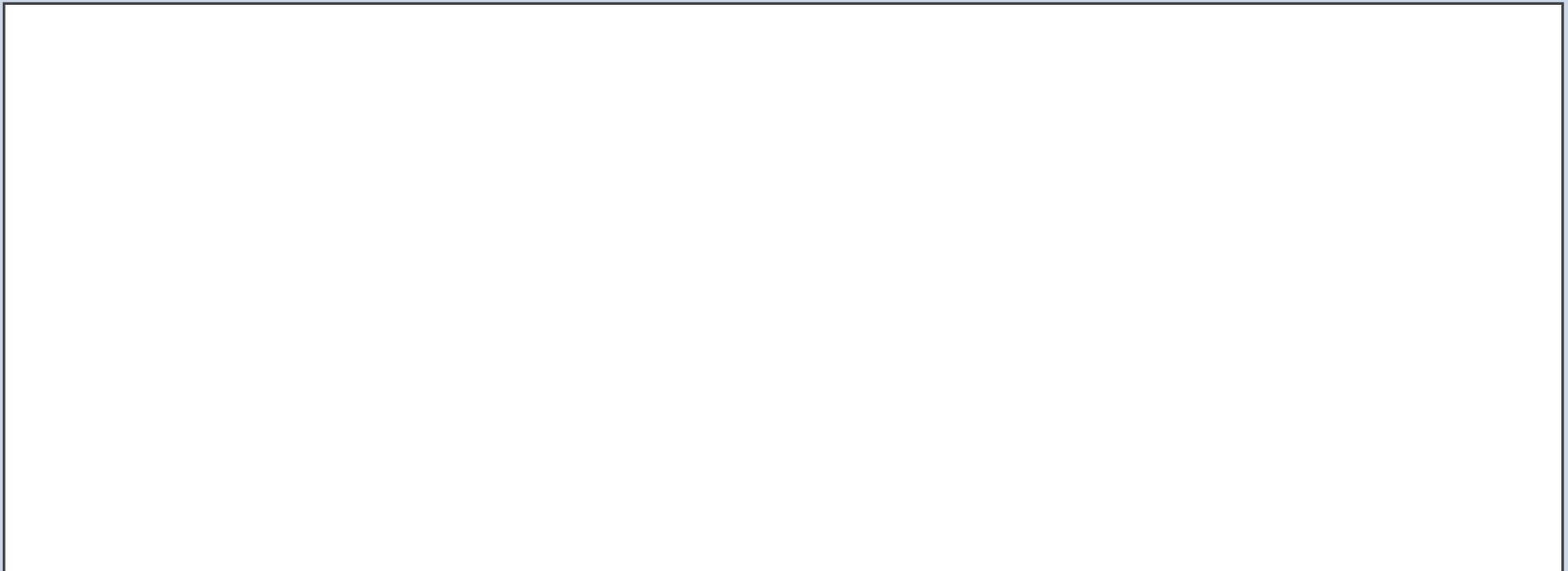
○私たちは誰と出会いたいのか・何とコミュニケーションをしてきたのか

私たちがいま求めている出会いやコミュニケーションとはどのようなものだろうか。そして、そのような個人の意思と豊かさとは関係のないものだろうか。

また、そもそも人とのコミュニケーションではなくて、場所や自然とのコミュニケーションは可能なのだろうか。

本日のまとめ

出会い・コミュニケーションの「豊かさ」とは



である。